

フレッシューズゼミ A (税理士養成クラス)		演習	准教授 岩下 尚義	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300101	

### 1. ゼミのねらい・概要

税理士養成クラスは、将来、税理士として活躍するために必要とされる高度な会計及び税法の知能・技能を身につけ、税理士資格の取得を目指している。フレッシューズゼミでは、税理士試験科目のうち会計科目（主に財務諸表論）を学習する。

税理士試験における「財務諸表論」は、理論問題と計算問題が出題される。理論の学習に関しては試験対策という枠で捉えず、会計基準の背景や思考を学び、活発なディスカッション等を通じて、将来会計人として活かすことができる思考を養成する。計算の学習に関しても、試験対策を行いつつ、教員の税理士としての実務経験を活かし、将来に活用できる知識を身につけていく。

### 2. ゼミ計画

1. ガイダンス（税理士試験、授業計画について）	9. 棚卸資産
2. 財務諸表論の全体構造	10. 有形固定資産、無形固定資産
3. 会計公準、企業会計原則	11. 研究開発費、ソフトウェア、繰延資産
4. 財務諸表の体系、会社法に基づく計算書類等	12. 負債会計総論
5. 損益会計総論	13. 健康保持とネチケット(全体ゼミ)
6. 資産会計総論	14. 防犯・交通安全対策講話(全体ゼミ)
7. 現金及び預金、金融商品会計の概要	15. キャリアアップのための指導 第1回(全体ゼミ)
8. 金銭債権、有価証券	

### 3. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業の準備は「ゼミのための学修ではなく、税理士試験に合格するための学修である」と意識すること。

復習で重要なことは時間ではなく、「毎日」行う習慣を身につけることである。復習に要する目安の時間は、毎回の授業テーマにより適宜指示をする。なお、予習は不要である。

### 4. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業内で適宜指示する。

### 5. ゼミにおける学修の到達目標

税理士試験の受験は最短で大学2年次の夏に実施される試験を目指す。フレッシューズゼミでは、まず合格に必要な基礎力を確保することと会計思考の土台を築くことを目標とする。

### 6. 成績評価の方法・基準

原則として、平常点50%（出席状況や授業への取組み姿勢）、定期試験の結果50%で成績評価を行います。

### 7. テキスト・参考文献

授業内で適宜指示する。

### 8. 受講上の留意事項

本ゼミは、税理士受験等を目標に掲げている学生で構成されている。よって、ゼミ生は学生であり「受験生」でもある。多くの友人とともに経験した高校受験や大学受験と異なり、税理士受験は孤独な戦いである。ゼミという共に学び、共に高められる場を最大限に活かせるよう、切磋琢磨していきましょう。また、上記「ねらい」でも記載のとおり、本ゼミは単に試験対策ではなく、将来会計人として活かせる会計思考の養成を目指している。知識を暗記等で身につけるだけでなく、自らで考え、皆が積極的に意見交換できる場を作っていきましょう。

なお、ゼミでは計算の練習等も実施するため、講義内で指示したテキストの他、必ず電卓を持参すること。

**9. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、税理士としての実務経験を活かして指導する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。